



もみじ台地域 まちづくり指針



令和6年（2024年）3月
札幌市

目次

1. 目的と位置づけ	01
1-1 目的	02
1-2 位置づけ	03
1-3 対象範囲	04
2. 現状と課題	05
2-1 現状	06
2-2 課題	24
3. 将来像と目標	25
3-1 まちづくりの基本的な考え方	26
3-2 将来像	27
3-3 目標	28
4. 土地利用再編の考え方	33
4-1 土地利用の基本方針	34
4-2 公共施設に関する方向性	35
4-3 土地利用再編イメージ	40
5. 土地利用再編に向けたロードマップ	43
資料編	45

01

目的と位置づけ

1-1. 目的

1-2. 位置づけ

1-3. 対象範囲

01

目的と位置付け

1-1 目的

もみじ台地域は、高度経済成長期の急激な人口増加に対応するため、約50年前に札幌市が開発した住宅団地であり、調和のとれたゆとりある良好な住環境が形成されてきました。

近年、人口減少・少子高齢化が進行し、児童生徒数の減少に伴い小・中学校が統合されるなど、地域の姿は少しずつ変化しているとともに、地域コミュニティの担い手不足といった課題も生じています。

また、もみじ台地域の市営住宅は市内全体の約2割を占めており、地域内の大規模な市営住宅をはじめとした公共施設の老朽化が進行し、今後順次更新時期を迎えていきます。

このような中、もみじ台地域では、地域住民主体のまちづくりが進められており、令和4（2022）年7月には地域の自治会等で構成される「もみじ台まちづくり会議」により、地域が進めるまちづくりの方針となる「もみじ台まちづくりビジョン」が策定されました。

こうした背景のもと、もみじ台地域の現状や課題、地域住民の意向等を踏まえ、様々な世代が安心して住み続けられるまちを目指し、将来的な土地利用の再編を見据えた今後のまちづくりの方向性を示す「もみじ台地域まちづくり指針」を策定することとしました。



写真 1.1 もみじ台地域航空写真（令和元年）

1-2 位置づけ

本指針は、地域住民等と札幌市が確認・共有する今後のまちづくりの指針となるものです。

このため、地域住民・事業者・有識者により構成される「もみじ台地域まちづくり指針検討委員会」を設置し検討を行うほか、「もみじ台まちづくりビジョン」をはじめとした地域住民の意見も踏まえた内容にするとともに、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」や「第2次札幌市都市計画マスタープラン」等の札幌市のまちづくりに関する上位計画に即し、各分野の計画と連携、整合を図ります。

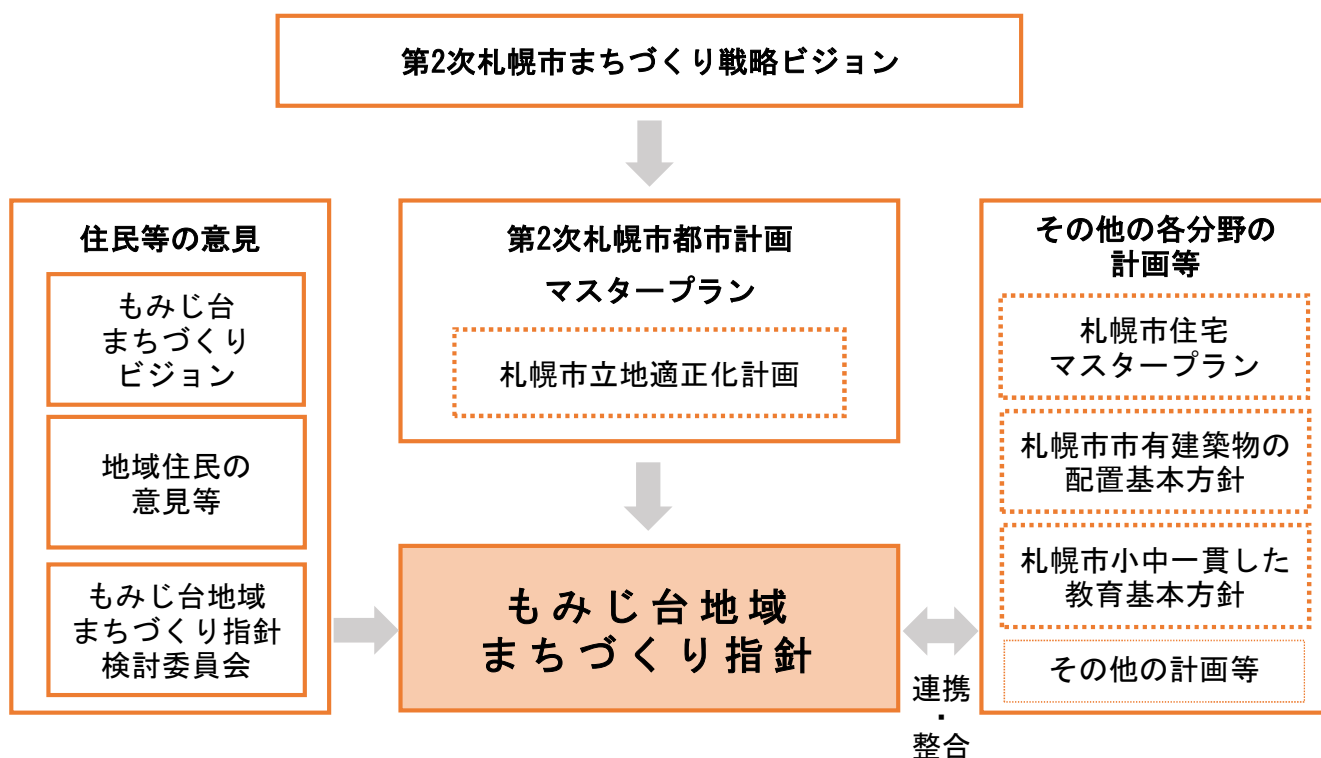


図 1.1 指針の位置づけ

1-3 対象範囲

本指針は、厚別区のもみじ台地域を対象範囲とします。

もみじ台地域は、市内中心部から南東方向約12kmのところの位置しており、地域の中心部から直線距離で約2kmの位置に地下鉄新さっぽろ駅・JR新札幌駅があります。

